

グループ別の討議意見

《第1グループ》

- ・農作業体験を通して一人では困難で農作業されている方は苦労されている。大変だと感じました。蕎麦打ち体験では、職を究めるためには、知識や技術が必要だと感じました。
- ・簡単に感謝という言葉は私達は口にしていたましたが、体験を通して本当に感謝の心を持つことができ、家族や友達に伝えていきたいと感じました。
- ・今後栄養教諭としてこの体験を通して実際に苦労を知ることによって、児童に感謝する心を伝えることが出来るのではないかと考えました。

《第2グループ》

- ・農作業とは食材を作る大変さや食材への感謝などを学びました。
- ・蕎麦打ち体験では、手作りの難しさ、蕎麦に対する愛情などがすごく伝わってきました。将来家庭を持ち畑を作って家庭菜園が出来たらいい。
- ・給食に含まれている食材も多くの人に関わっていることを知り、これを伝えていきたい。また、子供たちに農業の大変さや感謝など、実際の授業で体験してもらうことも出来るのではないかと思います。

《第3グループ》

- ・使ったことのない農作業具などを使わせて頂いて本当に貴重な体験が出来た。すごい苦労をされているんだなと知ることが出来て良かった。
- ・蕎麦打ち体験では、蕎麦の香りなど普段感じれないものを感じることができましたし、私達と何年もやってる職人さんで蕎麦の味に違いがはっきり出ていることを感じる事が出来ました。
- ・普段自分たちは、食べている食材をこうして育てている人がいるのだと思うと、本当に感謝の心を持つことが大切だと改めて思いました。今日のこの気持ちを忘れないように、店などにある食材を大切に食したいと思いました。
- ・自分で農業体験をして、その食材を使って給食とか調理実習に取り入れることによってすごい心に残ると思うので、子供たちが自分で育てた農産物を使った調理実習とか給食などを提供して食育につなげて行きたいなと思いました。

《第4グループ》

- ・種まきの時にかがんだり立ったりするのがつらかった。体験を通して農作業をする人の苦労を感じることが出来ました。
- ・蕎麦打ち体験では、作り方を教えてもらって知らずに食べに行くのでは違うなと思いました。実体験することにより、食に関する指導が児童へより食のありがたさを伝えられると思いました。
- ・体験を更に活かせる食育活動では、農作業で「わら」を使うことや蕎麦打ちで「おへそ・菊練り」のことを実際に児童に伝えていきたいと思いました。

《第5グループ》

- ・農作業体験では、種をまくまでに多くの作業があることが判りました。季節による作業の大変さだけでなく、環境面での大変さも判りました。
- ・蕎麦打ち体験では、実際に打っているところを見て、思っていたよりも難しいものだなと思いました。また、実際にお店で売っている蕎麦は黒っぽいのですが、思っていたよりもすごい白くて違うものだなと思いました。
- ・体験から学んだ経験は、実際に体験してわかったことがあるので、人に伝える時も自信を持って話せると思いました。
- ・食育活動は、農業体験で判ったことを伝えていくことが出来ると思いました。あとは、蕎麦を使って食文化のことを伝えていけばいいのではないかと思います。